



シンポジウム開催案内

●境界領域委員会 プラズマプロセシング分科会

プラズマプロセシング分科会シンポジウム

鉄鋼製造プロセスへの熱プラズマの利用が活発化しております。一方、電気学会を中心に廃棄物処理への応用研究が進んでいます。今回は熱プラズマの基礎と鋼の表面処理への利用ならびに廃棄物処理への応用の話題を取り上げ、公開シンポジウムを開催したいと存じます。多数方のご来場と活発な討論をお願い申し上げます。

1. 主 催：(社)日本鉄鋼協会

2. 共 催：(社)電気学会、(社)日本金属学会、(社)応用物理学会、日本電熱協会、(社)高温学会

3. 日 時：平成7年3月23日(木) 9:30~17:00

4. 場 所：JAビル 第4会議室

5. プログラム：

9:30~9:40	開会の辞	分科会主査：牛尾誠夫（阪大）
9:40~10:10	熱プラズマにおける非平衡について	武田紘一（新日鐵）
10:10~10:40	発光分光による温度測定と遷移確率	石井邦宣（北大）
10:40~11:10	窒素プラズマジェット中における電子の加速現象	小野 茂（武藏工大）
11:10~11:40	直流溶射における金属粒子の加熱、加速過程	作田忠裕（金沢大）
11:40~12:10	交流プラズマトーチの電極損耗現象に与える電極形状の影響	岩田幹正（電中研）
12:10~12:20	質疑	
13:20~13:50	アークプラズマを利用した高速イオンプレーティング技術	木部 洋（NNK）
13:50~14:20	プラズマビームによる鋼のTiNコーティング	井口征夫（川鉄）
14:20~14:30	質疑	
14:30~15:00	原子炉廃棄物の熱プラズマ処理	鈴木正昭（東工大）
15:00~15:30	低レベル雑固体放射性廃棄物のプラズマ溶融処理技術の検討	天川正士（電中研）
15:30~16:00	ゴミ焼却炉灰溶融プラズマアーク炉の開発	小林勝彦（三菱重工）
16:00~16:30	一般廃棄物焼却残渣のプラズマ溶融処理	加賀 彰（川崎重工）
16:30~16:50	質疑	
16:50~17:00	閉会の辞	渋谷正豊（電中研）

6. 申込み・問い合わせ先：（参加者制限：先着50名まで） 参加ご希望の方は、氏名・勤務先・所属・電話番号を明記の上、下記まではがきかFAXでお申込み下さい。

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 (社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 長林、植田

TEL(03)3279-6021 FAX(03)3245-1355

3学協会共同企画シンポジウムのお知らせ

主催：(社)日本鉄鋼協会、(社)日本金属学会、(社)資源・素材学会 共催：日本学術会議金属工学研究連絡委員会

テーマ：機械的微細化・混合法の基礎と応用

企画世話人：京大工 新宮秀夫・早大理工 南雲道彦・東北大素材研 斎藤文良

日時：平成7年4月6日(木)10:00~16:45 場所：東京理科大学5号館第1別館薬学部1階（東京都新宿区神楽坂1-3）

10:00~12:00

材料の微粉碎性評価	神田 良照（山形大工）
粉碎並びにMA過程におけるボールミリング・シミュレーション	橋本 等（東北工研）
ソフトメカノケミストリーと材料設計	仙名 保（慶大理工）
13:00~15:00 (基調講演) カオスの理論とメゾ・ナノ構造制御	新宮 秀夫（京大工）
メカノケミカル反応と非平衡中間状態	南雲 道彦（早大理工）
メカニカルアロイングによる熱電材料の高性能化	梅本 実（豊橋技科大工）
メカニカルアロイングによる金属間化合物微粉の生成過程	渡辺 龍三（東北大工）
15:15~16:45 (基調講演) メカニカルアロイングにおけるAI基非晶質合金と準結晶	井上 明久（東北大金研）
鉄鋼材料へのメカニカルアロイングの応用	高木 節雄（九大工）
強制塑性流動・破壊プロセス制御によるメカニカルアロイング	相澤 龍彦（東大工）

テーマ：未来指向・環境調和型素材プロセス

企画世話人：九工大工 中村崇・名大工 浅井滋生・東北大素材研 梅津良昭

日時：平成7年4月6日(木)9:30~16:45 場所：東京理科大学5号館第1別館薬学部2階（東京都新宿区神楽坂1-3）

未来指向型素材プロセス

9:30~10:00 (基調講演) 21世紀の素材プロセス	増子 昇（東大生産研）
10:00~10:30 これからの素材プロセスと移動現象論	村山 武昭（九大工）
10:30~11:00 これからの素材プロセス開発と物理化学	永田 和宏（東工大工）
11:00~11:30 μ -炉における素材プロセスの可能性	栗林 一彦（文部省宇宙研）
11:30~12:00 新素材開発とプロセスのかかわり	木村 悅治（三菱マテリアル中研）